

ありがとう温泉館
町直営 高森温泉館休館

平成6年にオープンした高森温泉館は、赤字続きのため3月31日（日）、直営・指定管理者運営をあわせ25年の歴史に幕を閉じました。最終日の31日（日）には通常の1.5倍の851人が来館しました。

これまで多くの方々にご利用いただきありがとうございました。

入館料回数券の払戻しは5月24日（金）まで役場・生活環境課で対応しています。回数券と印鑑をお持ちください。

☎ 高森町役場 生活環境課
☎ 62-2225



聞きなっせ
見なっせ
こぎゃんががあったよ！

新入生の通学を見守る
草鞋の交通安全お守り

草村利民さんが新入生の通学時の交通安全を祈願し、草村さんお手製の草鞋型のお守りを町内小学校に寄贈しました。このお守りが寄贈されるのは昨年続き、これで2回目。合計42個の布で作られたお守りは、色とりどりで一つ一つ個性が光る仕上がりとなっています。先生から手渡された児童は「私のは茶色だった」「かわいい」「ランドセルにつけるの」とうれしそうに話しました。



4月9日(火)

ごはんがすすむ！
高菜の新漬けの贈り物

下切地区から約40キログラムもの高菜の新漬けが高森町役場に届けられました。「今年の高菜は暖冬でよく太りました。収穫祭も1週間早くしたほどです」と『下切自然を愛する会』の甲斐啓三さんが話しました。この高菜は3月17日（日）に行われた下切高菜祭りで収穫されたもの。祭りには毎年福岡など遠方からも参加者が訪れる人気イベントで、今年は50人が参加しました。



3月22日(金)

南郷谷はひとつ・
南郷谷の大動脈の復活を願い！！
2019南阿蘇鉄道復興友好駅伝大会

濡れた路面で朝を迎えた大会当日。スタート時には雨も止み、全12チームが元気にスタートを切り、総計8キロメートルの南鉄沿線5区間をタスキで繋ぎました。交通の要である南阿蘇鉄道の早期復旧を願い開催した本大会は今年で第2回目。昨年に続き優勝を果たした高森町・南阿蘇村連合チームの『team MAR』は「南鉄の復興を牽引していくつもりで走りました」とコメントしました。



3月21日(木)



高SPOだより

高SPO ☎ 高SPO事務局 ☎ 62-2991

※スマホ、携帯からでも閲覧可能です。WEBページもぜひご覧ください！
http://www.takaspo.jp/



風まる

第6回 大津さくらカップサッカー大会

3月30日（土）、31日（日）に大津町で開催された本大会は県内外から24チームが集まり、2日間で計7試合を戦いました。チャレンジャーリーグの部決勝戦では佐賀県のPLEASUREを相手に2-1で勝利し、見事優勝しました。



第10回 さくら健康フェスタin美里

3月31日（日）に、美里町で開催されたウォーキング大会に高SPOより9名の会員が参加し、緑川ダムを一周する7kmを歩きました。今年は第10回の記念大会ということもあり、1,300人の参加者でした。コース上でのおもてなしや、秀岳館高校の「雅太鼓」による演奏や抽選会など始終楽しいイベントでした。



ロアッソ熊本ジュニアユース阿蘇設立
チーム結団式が行われました！！

ロアッソ熊本と高森町の連携協定により、ロアッソ熊本の中学生世代のサッカーチーム「ロアッソ熊本ジュニアユース阿蘇」が設立され、4月6日（土）、阿蘇市農村公園あびかで結団式が開催されました。

ロアッソ熊本からは、永田社長をはじめ織田ゼネラルマネージャーも出席し、チームによせられた期待の大きさをうかがわせました。

入団した18人の選手（高森町11人、阿蘇市6人、南小国町1人）は、草村町長より「元気良く、怪我なく、目標を持って大好きなサッカーに取り組んで欲しい」と激励を受けました。選手を代表し、井亮輔選手（高森町）は「阿蘇の地でサッカーができる喜びと、地域の方々への感謝の気持ちを持って躍動します」と決意を述べました。

ロアッソ熊本ジュニアユース阿蘇では、
随時入団選手を募集
しています。



☎ 政策推進課 政策企画係 高森町地域おこし協力隊
(ロアッソ熊本所属) 前田拓哉 ☎ 62-1111 (内線 153)

広告

障がい者支援施設
高森寮



http://takamoriyo.jp/

障がいのある方の生活や、今後のことについてお尋ねがありましたら、お気軽にご相談ください。

高森町色見822
TEL 0967-62-1780